



内部監査の品質評価 (QAR) サービス

内部監査部門の有効性を確認し、監査の品質向上と改善への提案を通じて、経営に資する監査の実現を支援します。

近年、企業が直面する経営環境の激変や不祥事の多発などにより、内部監査部門に対する期待は、ますます高まっています。

会社法による内部統制システム構築の要請、金融商品取引法による財務報告に係る内部統制評価の要請、金融当局の要請など、内部監査の対応すべき範囲も広がっています。これらの期待の中で、内部監査部門の有効性を確認する「内部監査の品質評価」への関心が高まっています。

プロティビティは、単なる内部監査基準への適合性評価にとどまらず、付加価値を生む内部監査の構築・高度化をめざす企業の課題設定・改善方針に貢献する実務的な品質評価プログラムを提供しています。

プロティビティの品質評価プログラムは、グローバルに統一されたアプローチと品質により、内部監査の理論と実践を備えた専門家として認定された公認内部監査人の称号を有しているメンバーを含むチームにより実施され、内部監査コミュニティにおいて高く評価されています。

ご参考

GIAS では、内部監査の品質評価について以下のように規定しており、品質のアシュアランスと改善のプログラムの策定・実施・維持は内部監査部門長の責任とされています。

基準 8.3 – 品質

内部監査部門長は、内部監査部門のあらゆる側面をカバーする品質のアシュアランスと改善のプログラムを策定、実施、維持

品質評価とは

品質評価は、以下を主な目的としており、「内部評価」と「外部評価」に分類することが出来ます。

- 内部監査活動の有効性の評価
- 内部監査人協会 (IIA) の「グローバル内部監査基準」(以下、GIAS という) への適合性についての評価
- ベストプラクティスを参考にした改善の機会の提供

内部評価

社内(内部監査部門を含む)で行う内部監査部門の評価であり、内部監査部門自らにより日常的に行われる「継続的モニタリング」と、GIAS への適合性を評価する「定期的自己評価」があります。

外部評価

組織体外の独立した内部監査の専門職的实施と外部評価プロセスのスキルを有した適格者により実施される評価です。GIAS は、最低でも5年に1度は、外部評価を実施することを求めています。さらに、この外部評価には、外部評価者が内部監査のレビューを直接行い評価するもの(フル外部評価)と、内部評価の結果を独立的な立場で検証するもの(独立した検証を伴う自己評価)の2つの方法があります。

しなければならない。

内部監査部門長は、取締役会および最高経営者に対し、以下の事項を報告しなければならない。

- 内部監査部門の GIAS への適合およびパフォーマンス目標の達成
- 内部監査に関連する法令や規制の遵守
- 内部監査部門の不備および改善の機会に対処するための計画

プロティビティの品質評価サービスの概要

内部監査の外部評価（「独立した検証を伴う自己評価」支援を含む）

内部監査実務と外部評価プロセスに精通するプロティビティのコンサルタントが、GIASへの適合性を評価します。IIAの定める正式な外部評価プログラムであり、「個々の内部監査業務が『グローバル内部監査基準』に適合して実施された」と表明するために必要な評価報告書を作成します。

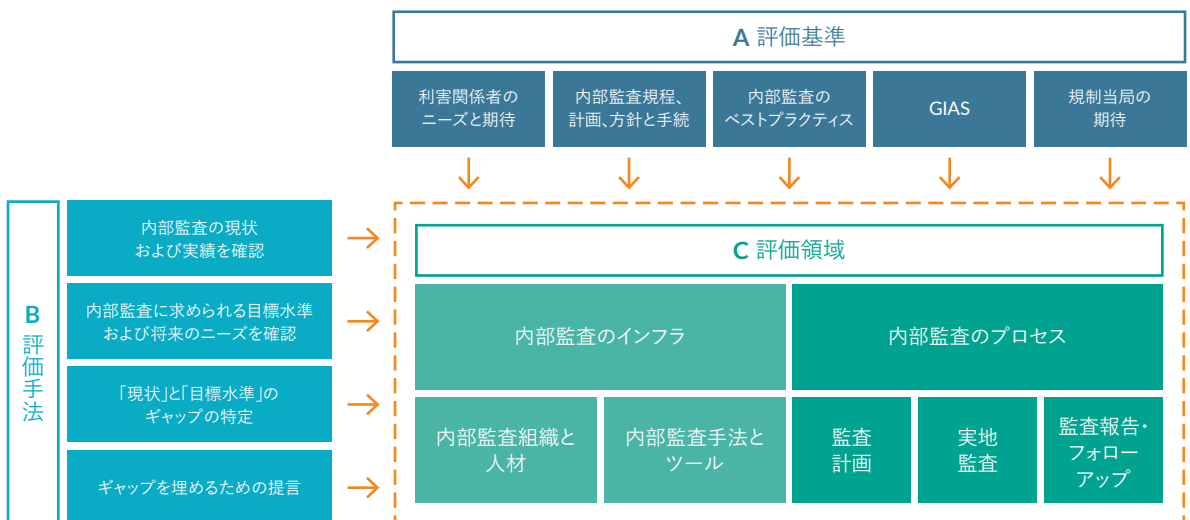
GIASへの適合性だけではなく内部監査の有効性や効率性に焦点をあて、貴社の内部監査の品質向上に向けた提言（改善の機会の提供）に注力することが特徴です。

IIAの「品質評価マニュアル-2024年版-」に基づく評価を実施します。

プロティビティの提供する手法とアプローチの概要

品質評価におけるプロティビティのアプローチは、GIASの要請をすべて満たすものであり、内部監査に係る全範囲を評価したいという企業に適したものです。内部監査に対するステークホルダーや監督当局の期待とのギャップの分析、さらには、内部監査のベストプラクティスの観点からの提言も行います。

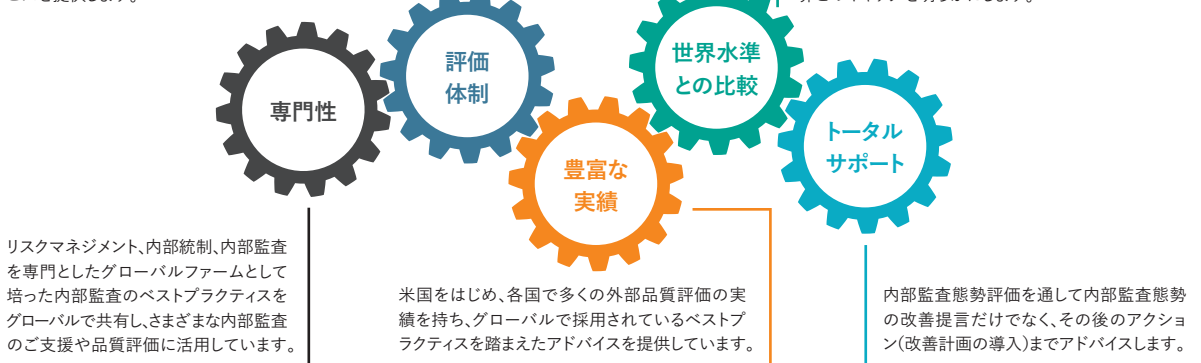
下の図は、「GIAS」「利害関係者のニーズと期待」等の評価基準(A)に基づき、「評価手法」(B)を適用し、内部監査のインフラとプロセスに関する評価領域(C)に対し、内部監査の品質評価を実施する我々のアプローチの概要です。



プロティビティの品質評価サービスの特長

内部監査を専門とするコンサルタントに加え、業界動向に精通するプロフェッショナルをメンバーとした体制で品質評価サービスを提供します。

グローバルなデータベースとのベンチマーク分析や、他社におけるベストプラクティスとの比較を通じて、業界とのギャップを明らかにします。



プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとの的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25か国、90を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスとマネージドソリューションを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティは、Robert Half (NYSE: RHI)の100%子会社です。

プロティビティLLC

protiviti.jp

東京都千代田区大手町 2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー24F

大阪府大阪市北区梅田 3-2-123 イノゲート大阪9F

Protiviti, Protivitiロゴは、Protiviti Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。
PJ2509



protiviti®